

健 康 保 育 座 談 會

○健康保育

菊池「お忙しい所をお練り合せお出で下さいまして本當に有難う存じます。こんなに澤山の皆様がお出で下さいまして恐縮致して居ります。色々お話を伺ひし度いのでございますが、今日は、こちらではこんな案を立て、居りました。それは近頃體位向上云ふ事が云はれて居りますが、幼稚園に於きましても健康保育云ふ事は以前から重要視されて居りましたのですが、この事につきまして今日は一つ先生方に澤山の具體的な方法をお伺ひ致しましてお互に此の事に努力してまゐり度い存じます。ではお初め頂きます。指名して伺つた方が宜敷うございませうか」

倉橋「別に新しい問題云ふ譯でもありませんが、まあ之をめぐつていろいろ話して頂ませう」

坂内「皆様の所でなさつていらつしやる事を伺つて……」

倉橋「あなたの所から一つ……」

坂内「私の所は積極的な事は何もして居りません。極めて消極的な事しか……まあ皆様のを伺つて、偉い人は後からお話し致しませう」(笑聲)

(坂内先生がお隣の福島先生の直接交渉で發言權ならぬ發言義務をお譲りになる。あちらこちらから「福島先生」「柔軟體操」の聲が起る)

倉橋「柔軟體操？中學時代にさう云ふ名前の體操がありましたね、柔軟云ふかコンニャクの様ですが……今のも其の柔軟ですか？」

福島「さあ、それはよく存じませんが……帝大で研究されて居るものです。ラヂオ體操のやうなものです……ラヂオ體操は力を入れてはいけないのださうです。一二二ミ力を入れるさ入れた所に無理が出来て疲れが出たのです。私が之を初めたのは私の近眼から来て居るのですが、一日中仕事をするに随分疲れて仕舞つて臉がさわつて見ても堅くなつて居ます。それで其の體操の頭の運動を始めたらとても樂になりましたので幼稚園でも致して居ります。」

倉橋「それは其の方の創案なんでせうか？子供にこんな風

福島「私の所では朝、會集云ふのでもないのですが、や

はり一度集めません。まごまりがつきません。それで朝、集めて、舊式なんです、何かお話をして、宮城を遙拜して時事を話してから其の後で斯うして（實際に見せて下さり乍ら）首をグル／＼廻す運動を十回、右廻りが済んだら左廻りで……それから目の玉を動かすのです。目をつぶつてグル／＼……さうするに堅くなつた臉もやはらかなります。子供はグル／＼廻すのが出来ないからバチ／＼まばたきをします。私の所に首のこんな曲つた子が居たのですが、すつかりなほつて仕舞ひました」

及川「それだけですか？」

福島「それから手を上げたり下げたり……」

倉橋「して見せなければ……皆さんも一つ……」

（皆でいつしよにする）

福島「之は全部力を抜いてするんです」

及川「それ何回位？」

福島「やつぱり十回位です、ラヂオ體操はいふんですし、する時は子供は元氣よくする

出席者(五十音順)	
大和郷幼稚園	栗屋正子
本郷第一幼稚園	井田淑子
黒門小學校	浦野しづえ
附屬幼稚園	落合美彌子
千櫻幼稚園	鎌田まゐ
竹町尋常小學校	橋川ちゑ
附屬幼稚園	柴田みどり
東京聴覚學校	立野みえ
趙町幼稚園	田中ゆき
芳林幼稚園	徳久孝子
大和郷幼稚園	坂内ミツ
番町幼稚園	福島春
青山尋常小學校	八木澤まげ
附屬幼稚園	山村きよ
三井清泉學寮	
富士見幼稚園	
本會	
倉橋惣三	
及川ふみ	
菊池フツノ	
清水光子	
船田ふさ	
小島そよ	
杉山米子	
町田行子	

んですけれど、さうもソハ／＼落着きがなくなくなります。それで私理屈っぽいんですけれど、おつむがよくなるからおつむの運動をさせよう云ふ子供は眞面目になつてします、そして目をバチ／＼やつて、それから全然力を抜いて手を爪先まで下げたり上げたりします」

倉橋「大人だつたらさうしたらいゝでせう？」

福島「疊の上に足を投げ出して坐り、手を爪先までのばします。それから斯うして（實際に首筋をもんでお見せになります）よくもみます。之をすれば少し位風邪を引いてもなほつて仕舞ひます。それから肩を上げたり下げたり、之も力を抜いてします」

倉橋「子供さん喜んでしますか？」

福島「はあ、さても喜んでします」

倉橋「號令はかけないんですね？」

福島「え、かけません……少し理屈ばつて居るんですけれど……」

倉橋「理屈ばつて居る云ふのは、前の話でせう？體操其のものは……よく朝起きて

床の上で首を廻す體操の話は聞きますが目をパチクリするのは初めて聞きました。……然しそりや體操云へば體操だが極めて樂な動きですね、害の起りやうもなささうですね」

福島「其の方のお話では、體操は力を入れないさよいので、力を全然抜きまして自然の運動をするのがよいので、形なき出來やうも出來まいさ……」

倉橋「此の幼稚園ではラヂオ體操をして居ます。私は體操さ名のつくものは一切したくない主義なんです、まあラヂオ體操を初めました。所が時々見るさ實に亂雜なんです。して居るのもあるがして居ない様な子もある。それで此間新學年の初めに、ちゃんとする様に訓辭したんですが……ぢやァキチンさしない方がいゝんですかね」

坂内「私の伺つたのは、力を入れた放しが不可いのださうです。ものをぶてば、ぶつた所で力が抜けます、所謂體操で力を入れた放すのは不可いのです、それでラヂオ體操や國民體操をやつたが爲に體格の悪くなるさ云ふ説がある位です。従來の體操は歐米人の體に合せてつくつたもので、其のまゝ日本人にさせるから無理が起るのです」

倉橋「武道はそれさ反對に純日本風なものですね」

坂内「棒でものを叩かせるのはよいですね、子供には自然

の運動がいゝのです。目的を持つて走るのがよい、例へば風車を持つて走るのなきが一番よろしいのです、つまり何にでも無理な事がいけないのです、人々によつて違はなければいけない、それを足をまげて坐る日本人が足をまげない西洋人の眞似をするから無理が起る、それで體格をこわす事になるのでせう、骨格のかたまらない子供にキチンさする事を要求する事は肋膜やなにかを損ふのです。同じ體操でも要領のいゝ子は、先生の目をかすめていゝ加減に運動しますから體はこわしませんが性質がづるくなり、眞面目な子供は一生懸命力の入れつつ放しをするから體をこわします。さちらにしてもよい事はありませぬ。日本人の體に合ふ體操が之から生れて來る可きですね、ある中學校で配屬將校の方がお代りになつた時に、生徒達の氣オ付ケの姿勢を見られて『其の姿勢の氣オ付ケで長く保てるか？』と聞かれ姿勢をなほされたさ云ふお話を伺ひました。それから幼稚園の時少し歩き方のおかしい子供が居ました、所が學校へ上つたら氣オ付ケが出來ませんでした。今調べて頂いて居るのですが家では年をこれば自然になほる事さ餘り氣にも留めず放つておいたのです。歩き方の變なのを直せばよいのでせうが、其の子供はお母さんの骨格が崩れて居たのでした。其の爲にさうなつたのです」

○具體體育

倉橋「それは面白い事ですね……それと関係があるかどう
か知りませんが、之は幼稚園ではないのですが、去年の
夏頃から體操の問題で體操の方の人と話して居ます。尤
も向ふが相手にならないから論議にはならないのですが
……(笑聲)……所で從來の體操は皆抽象的、分解的のも
のだから其の部分はよくなるが體全體の健康は増せない
でせう。矯正體操、鍛練體操としてはいゝでせうが、も
う少し氣持の入つた目的の入つた體操が欲しいと思ふ。
それで其の場合を考へるに三つの場合がある。一つは遊
戯云ふものがあります、『テフク』がおびる』云ふ事
なら、それを頭の中で考へ乍ら其の眞似をするなら、意
志でない感情が入つて來て、唯の手の運動ではありませ
ん。幼稚園の遊戯は之です。も一つは生活體操云ふ生
産體操云ふ呼んで居ますが、蹴を持つて土を掘る云ふ、鋤
で打つ云ふ、生産には必ず身體を動かします、唯それは
生産を主として居るから多少其運動は偏つたり、無理が
起つたりするが、それを生産の道具にならず、生産の方
は充分でなくとも、唯「何かする」云ふ事だけでも意義
が出て來ます普段の生活をも少し體操的に整理をするの
です、石を叩く、車を押す、なご坂内先生の云はれた通

り結果がありますね。一つは武道です、日本精神的意味で
學校の正課に入つて居ますが、歴史的價値の外に闘志が
あります。闘志を加へた運動には生活性があります。西
洋流體操では、先生云ふ號令をかける人は、例を示し
て見せて、それを生徒が眞似をする。劍道の場合は劍を
先生も斯う構へて(倉橋先生颯爽と劍道の型をお示しになる)
打込め云ひます。生徒が打込めば先生はハッ云後へ引
きます。號令云ふ方便的なものでなく關係云ふ氣合云
ふかの態度になつて來ます。此處に日本精神なご云ふ事
を別にしても意義が出て來ます、唯の體操より意味があ
ります、保育に於ては遊びの生活を存分に發揮すればそ
れで充分に丈夫になる。丈夫になる爲に特別の方法を講
じる必要はない云ふ論もあるが、論はさうだが、普通
の生活であらゆる方面の運動が行はれて居るでせうか?
體操によつて健康にする云ふよりも、足りない部分を
補ひ、過ぎたるをゆるめる云ふ意味に於て幼稚園には
何かあり度い。今の福島さんのなんかはそれです。子供
は自然に遊ばせれば申し分なし云ふ理論は理論、完全
に云ふ譯には行かないから、都會ではさう云ふ方面が
足りない云ふ事があるでせう、例へば川のある所では
それを跳ぶ、山のある所では自然に登攀する。都會の子
供にはさうもさう云ふ事が足りない。それで何か、此の

原理は原理として補充して行く必要はないだらうか？一度食物のビタミンに於てもさうであるやうに」

坂内「私も何か幼稚園に適當なのを考へ出さうとして居るのですが未だ御報告する様な事が出来て居りません。松原保育園ではお遊戯を全然させないのです。遊戯にも、スキップはいつ初めたらよいか、此の子はさう、此の子にはさう、又しやがむ運動はいつ頃からよいか、イモムシゴロ／＼の遊戯は何時頃からしたらよいかさういふ問題があります、春だからサクラのお遊戯をすればいい云ふのは観念だけの事です。其の先生は根本修養動作を主として居ます。『ねん／＼おころり』が一番いゝ事ださうです。お母さんが赤ちやんをねかせる境地、それが一番いゝ事です、母が相常無理な生活をして弱らないのは、其の爲である云ひます。此の『ねん／＼おころり』も日によつて左にまわり易い日と右にまわり易い日があります。それが近頃のお母さん達は子供の守りをしてないから弱くなるのです。産みつ放しで乳母にあづけたり守りに頼んだりするのがいけないのです。だから腰が出来ません。體が悪くなると思つて赤ちやんを人に預けて育てさせるのは却つて身體の爲によくありません。おんぶしてねん／＼おころりをするお産で骨盤のくだけたのが直るからいゝのです。腰がくだけてない人は、子

供のお小用をさせる時ちやんこ正しく出来ず。くだけて居る人は、自分がフラ／＼なので、子供をまげて抱つて居るから子供が骨盤がまがつて仕舞ひます。そして、今のバンツがいけません。ちやんこ正しくしやがめないのです。其の先生は一度御不淨から出て来た子を正しく一度しやがみ直させるさうです。何をするにしても骨盤が大切なさうです」

倉橋「それはさうですとも、何の注意をされても、その譯が皆ありますよ、他でも何か？」

鎌田「先刻の生産體操云ふのは必ず何か持つてするのでせうか？今の體操ダンス、私の方の校長先生がよく仰言るのです、あんなのをして居ては不可ない、あれでは不可ないつてね、それで一度子供向きのを作つて見たんですくれき：：興味が子供にもありませんでした」

倉橋「スウェーデンのもデンマークのも分解體操だから、東洋流のも少し総合的になるでせうね」

鎌田「小學校の低學年受持の體操の先生に今考案して頂いて居るのですが、まあ『飛行機が来た』云ふ事を假定して其の眞似をさせるなき云ふ様に具體化して見ました、想像ですのです」

倉橋「今度知らせて下さい」

鎌田「今それに曲をつけて居るのです：：頭の運動とか、

何處の運動さか云ふのでなしに想像の方から……」

倉橋「つまり盛り上げたんですね」

鎌田「子供には未だして見ないんです」

倉橋「此處では榎登りをして辛うじて木登りの代用に、山を登り降りし、又川も作りましたがごぶ事は出来ません。都會ではなかく、悉く云ふ譯には行きません。此處へ今犬を一匹連れて来れば随分運動するでせうが……(鎌田さんに)兎に角今度それを教へて下さい。柴田さん麴町では？」

柴田「養護が主になつて居ますから積極的にはさう云つて……」

○歩行奨勵

倉橋「山村さんの所なきは？富士見(山村氏は富士見幼稚園

主任)の運動さか西行の運動さかあるでせう？」(笑聲)

山村「私今出来るだけ歩く事をさせて居ます。少くも一週

に三度は外へ出るやうにして居ます」

倉橋「一度にどの位歩きます？」

山村「一週に一度は必ず靖國神社にお詣りして、其の後市ヶ谷迄さか、其の先の公園迄さか、だんぐり距離を多くして、最初四十分位大抵一時間位、今日は一番多くて一時間十分位も歩きました。足の弱い子がくたびれたく

ご申します。何しろ家ではしご段を昇らせない子も居る

んですからね、小學校ミ庭が別なのは有難いんですけれども狭いので外氣に多く觸れるには外へ出るより外ありません。唯靖國神社は敬虔な氣持で拜む事だけにして、彼處では遊ばせないやうにして居ます。充分足を丈夫にして終には強行軍をし度いと思つてます。今年はプールへ蓋をして其の上へござでも敷いて背骨を眞すぐにしてころがして見度いと思つて居ます。去年は石の上でしたのですが痛くて……之は私が寝る時の伸びくした氣持を味はせ度いと思つて考へ付いたのですが……」

福島「ござの下に鋸屑を敷くミ痛くなくていいさうです

よ」

鎌田「そんなにしなくとも大丈夫なんでせう？」

山村「痛いんですよ……ベッドは木がいゝさうですな」

鎌田「それは西式よ」

山村「出るのはいゝんですが唯手技がおくれます」

柴田「歩くのは私の方でもして居ます」

福島「歩く事は必要ですね。私の方は出てもすぐ墓地なん

で……」(笑聲)

山村「歩くのはお金はかゝらず一番いい健康法です」

徳久「私の方でも市ヶ谷公園、四谷公園、外濠公園等に行きます。それから今年から一週に一度づゝ農園に畠を作

りに行きます。一緒に行くのは大變ですから一組づゝ交替に。お留守居の組は其の邊を歩きます(幼稚園附近)、向ふへ行くミ上衣をうすくしてはだしにします。此間は南京豆を蒔いたり移植したりしました。それが濟むミ畠のまわりを何邊も歩きます。それから川原に行つて遊んで歸つて來ます」

倉橋「何處ですか？」

徳久「玉川です」

倉橋「下谷は出掛けるのが難しいですね、上野へでも行きますか？私がよく一人で考へる事なんです、大塚驛ミ春日町あたりに毎朝一人づゝ先生が迎へに行つて待つて居て、皆を集めて連れて歩いて幼稚園迄來る。それが出來たらいいと思ひますが、之は相談する迄もなく、此處の道ではとても出來ません、危くて……」

山村「其點、私の方は市内に居る氣がしません」

鎌田「電車通りの横斷は割に樂ですね、二列で連れて來て一組が四列になります。三組ですから十二列になります。自動車ミ電車だけに氣をつけて自轉車は目に入れません(笑聲)、先生が真中に一人立つて、『驅けてはいけません急ぎ足で行きなさい』と云ひ乍ら通します。さうすれば車の方で待つてゝ呉れます」

倉橋「向ふを退けてこちらが進むんですね、名案だと思ひ

ますね(笑聲)

福島「然し保母がそんな特別な事をしないで、自然に子供の健康増進をするのがいゝんですよ、餘り頭を使ひ過ぎるミ肩が凝つて仕舞ひますよ(笑聲)」

倉橋「それが一番いゝんですね、私も心配許りするので肩が凝ります(笑聲)」

○要養護幼兒

倉橋「所で此處は入園検定をして入れるから、餘り弱い子はお氣の毒だが入れません。然し皆さんの所は検定をしないから、年々保母の心から見て要養護ミ云ふ弱いのが居るでせう？、さうしますか？」

坂内「居ります……歩くのが變な子は其の指壓の先生に見せます。するミ中には歩けないからと云つて親が無理に引張るので胸が固くなつて居たのがありました。食物の方から行くのは園醫の香川先生に、香川綾子さんにお見せして、又親御さんで特別熱心な方は香川先生御指導の榮養料理を作つて食療法をします」

福島「私の方は聲を大きく出す習慣をつけました」

倉橋「ホー(大聲で仰言つたので一同大笑ひ)」

福島「朝來たらお早うございませすミ大聲で云はせませす。大體近頃の普通の話聲はフゝカリです。子供はこちらが高

い聲でものを云へばいくらでも高く出します、それで神
經質のお母様を持つ子の聲は高い聲です。大聲で、おな
かから出る様な聲で『お早うございませう』云はせて居る
と非常に快活になります、其の意味で唱歌も出来るだけ
大聲で歌はせて居ます」

山村「私唱歌の事では無鐵砲に大聲でござなられると困りま
すから、嚴しく、餘り大きな聲を出すとおのこの機械が
こわれるから靜に云つて大聲をさめます。でもお早う
ござよならば小さな聲で云つた時は聞えないと云つて何
遍でも云はせませう。又三人四人同じ事をくりかへして云
へる劇遊びを考へてやらせませう」

倉橋「この種類の虚弱でも聲を大きく出す事はいゝでせう
ね、外にありますか？親へはさうします？弱いと何か何
か云ひますか？」

山村「私はこんな性質だからハッキリ申します。するとも
喜んで『本當にさうです』と云つてくれます」

倉橋「こんな性質とはどんな性質ですか山村さん？(笑聲)

八木澤さんの所なんかでは云ひませんか？」

八木澤「やはり申します」

倉橋「親はこつちで云ふ事を前以つて知つて居ますか？氣
がつかないで居る親が多いでせうね、注意するのは必要
ですね」

八木澤「よく自分で確かめてから申しますが、よく意地
『家の子供に限つて……』等と負惜しみから理窟を云つて
抗議する方もありますが大抵は喜んで下さいます」

○幼稚園の効果

倉橋「二年なり一年なり幼稚園に居れば大抵丈夫になりま
せうね」

柴田「私の方の小學校では、組の編成が體質別なのです。

男一組、女一組と男女組一組でこれが三組と云つて一年
に入學の時レントゲンをかけて弱い體質の子を此の三組
と云ふ男女組へ入れるのです。それですから此の組へ入
るのを母親は厭がりますが……幼稚園から行つた子がぎ
れ位その三組に入るか氣を付けて見ましたら、二年保育
の組は二十五人中八人入り、一年保育の組は十三人入り
ました。之はいろ／＼原因もありませうが、一年保育の
方が二年保育より室内で過した時間が多かつたのです。
二年保育の方は日誌の端に其の日何時間外で過したかを
書いておいて氣をつけて外に多く出す様にしたのです。
幼稚園から行く子はもつ／＼三組に行く数が少くなら
なければならぬと思つて居ます」

倉橋「然し幼稚園に來たからと云つて、必ず三組には入ら
ないとも云ふ譯には行かないでせう」

坂内「私の方にも一年保育と二年保育とが居りますが、二年保育の二年目の初めの體格は、一年保育に入つて来る子供の方が大きく見えます。然し五月の検査の時見るに小さい様でもガッシリして居るのが判ります。一年前から居た方が矢張り何かありますね」

倉橋「それは勿論来て居た方がいゝですよ」

坂内「以前に五年の間統計を取つて見ましたらやはり二年保育の方がようございました」

鎌田「私もさうでした」(皆同感の様子)

坂内「小さい頃を見慣れて居るから何時迄も小さく見えるのでせうね」

山村「私の方では一年保育に來た子供は、何でもテキパキして操り人形の様で簡單によく操れますが、二年目の子供は何だかグズグズしたりしてなかく操れません。子供なりに神經を使つて居るんではないかなと思ひます」

鎌田「之はなかく疑問ですよ」

倉橋「よく考へなければならぬ問題ですよ、それは家庭に居るより精神的緊張は多いでせう、唯全體を見通した結論は簡單には云へませんが」

鎌田「市の方で私は體力検査を受け持つて、小學校から此間七十八の御回答を頂いて大變面白いと思ひました」

山村「三年保育は全くさうかと思ひます。私の所では二年

保育の子でも餘り小さいのは九月からいらつしやいさ云つて居ます。此のころの三ヶ月四ヶ月でぎんぐ大きくなりますから」

倉橋「家庭で健康を害する要素も多いでせう」

山村「家に居れば自由に一日中日向で遊べた者が、幼稚園に來た爲に思ふ様に日向へも出られなくなつたら……」

坂内「でも此の中に居る間は安心して居られる點があります」

倉橋「安心しすぎて居ますよ」

坂内「外では自轉車や自動車が來て……」

倉橋「子供はそう云つたものに轢かれては大變な命を脅かされるよりも、不規則な刺戟に興奮するのですね」

菊池「幼稚園がそんなに貢獻して居ないものなら心配ですね」(笑聲)

倉橋「貴方も悲觀しますか」(笑聲)

菊池「親達の中に、家の子供はしつかりして居りますから一年丈幼稚園に入れ度、小さいから、或は弱いから二年預つて頂き度いさ云ふ様なのが居ないでせうか？」

山村「さあ、それもありませうけれど、一年さ云ふのには經濟の方から云ふのが多いんではないでせうか……」

倉橋「然し皆さんは結論的に悲觀して居るんではないでせう」

山村「勿論で御座います。たゞさう云ふ事實もあるので
す」

倉橋「科學的研究と教育的指導とは違ひますよ」

山村「尤も、安心し切つて居たらよくはなりませんね」(笑
聲、同感の様子)

倉橋「此處では絶對的に二年ですが、又其處に主張もある
のです」

福島「若しも一年保育に來た弱い子供でも、二年來て居れ
ばさうにかなると思ひます。それに唯體が大きい小さい
と云ふよりも小學校へ行く爲には智能と身體は平行に進
まなければならぬから、それが爲には二年がいゝと思
ひます」

山村「それはよい悪いと云ふのではないのです。餘りに反
省される部分が多いので考へるのです」

及川「一年でいゝ子は二年來ればもつこよくなるんです
よ。だから色んな心配しなくても大丈夫ですよ」

鎌田「世の中が一年保育を望んで居ますね、一年保育の希
望者は四十人募集して九十人、二年保育の希望者は五十
人しか來ません」

柴田「私の方では早く幼稚園にあげ度いと云ふのが多いの
です」

鎌田「場所にもよりますね」

八木澤「私の方では此頃ガツリン統制で大抵歩いて來るの
で大變宜敷うございます」

倉橋「遊んで居る中に自然さかなり歩いて居るのですが、
やはり特別に歩くのがいゝんでせうね」

八木澤「私の方によい例があります。兄弟三人で兄二人は
一度も歩かなかつたのです。それが兄弟中一番弱かつた
末の弟は、ずつこ歩いて來ましたら非常に丈夫になつて
お休みもあまりしなくなりました」

倉橋「健康法のお話は之で打切りませうか」

○いろいろの實際

坂内「今一つ、幼兒に、飛ぶ事、投げる事、坂を登る事が
大切なんですが、此の投げる事が、やたらと投げられた
ら危いので、月的の様なものをつくりました。之に、
紅白のボールを投げつけさせました。三米位離れて、小
さい圓は直徑六〇糎にして、二重か三重の圓にします、
一番下が膝の高さになる様にすればよいさうです。之は
安田先生の御考案です。子供は餘り喜ばない様ですけれ
ども、やつぱりいつも三四人位は此處で遊んで居ます。
是等は本能ですから養ふ必要がありませんけれど庭が
狭いと出來ませんね」

及川「此頃繩遊びをよくしていますよ」

坂内「繩ミビはよろしいんですね」

福島「少し無理じゃないんですか？」

坂内「どうせ無理程には出来ませんよ」

及川「え、本當に下手ですね」

山村「小學校前一二ヶ月は本當によく遊べますね」

鎌田「でも教へてやればしますよ、私なんか負けて仕舞ひます」

柴田「私の方には、校長先生がなさるのですが、子供の身體をよく調べる道具があります。小さい時には鳩胸凹胸背柱彎曲等いろいろありますが早く判れば早く直せますからね」

倉橋「それはいゝことですね、調べてみて曰くのあるのがありますか？」

柴田「はあ、随分ございます。肺炎したの等左右胸の大きさの違ふ(不同胸)のが判ります」

倉橋「ちやんごさう云ふ道具があるのですか。いゝですね」

坂内「そこがどう見出すのは幼稚園で、處置をして頂くのは専門家が宜敷うございませうね」

倉橋「幼稚園で丈夫にしなければならぬのはきまつた事ですが、もう少し熱心に方法を細かにする必要があるのでせうね」

柴田「保姆が生理的醫學衛生を知つて欲しいと思ひます。」

すべり臺、ブランコにのるにしてもよい方法を知つて居れば、子供の間違つたのり方が直せます。關心を持つだけでもいゝのです」

倉橋「それはさうです。保姆養成機關が二年ださゝいゝ云ふのは其處です。何しろ實地にしなければならぬのですから……運動醫學は進歩してもらひ度いものです」

鎌田「私の所は西日で日當りは悪く、雨の日には電氣をつけなければならぬ部屋許りです。ですから机やござを出してなるべく外を使ひます」

倉橋「氣をつけて居ないさ一年を通じて案外外に出てない事が多いから、よく心掛けて統計をさる迄もないでせうが、計算して見るさよいでせう。一年の中で天氣の日が何日、其の中幼稚園に居るのは何時間……」

柴田「私それを日誌につけ初めてから餘りお天氣の少いのに驚いて居ます」

山村「それで私もお天氣のよい日に外を歩かせます。でも餘り豫定が残つて……」

坂内「其のお歩きになる時列をつくつて歩きますか？」

山村「それが問題なんです。團體生活の一番初めに訓練しませんと、幼稚園で自由に扱はれた事が濃厚に泌みこんで、小學校へ行つてから却つて他の子が緊張する時にも

キチンミ出来ないのではないかと思つて或程度までは訓練するのですが、遠足の時二人で手をつないで行けば全然でもあるし、他から見てもきれいに見えるのですが、一體子供は愉快なんでせうか？遠足の歸りにスキップしたり、横の列になつたりした時、實に楽しさうにして居るのです。其の度合が難しいんですね、動物園なごでも多勢一緒にワァァァ行つて、よつてたかつて見る方が楽しいんではないでせうか？」

柴田「私は今の組を小さい組の時から受持つたのですが、小さいからミ云ふのでゴチャ／＼歩いて余り叱らないで許して居たのですが、一年たつて新しく入つた子供ミ比べるミ、ミても其點統一がないのです。小さいからミ云つて自由にしミいて急に大きくなつてからキチンミしやうミしても駄目ですね、ですからミうせさせなければならぬ事、小さい事、ミても訓練的にチャンミししなければ：

倉橋「揃つてするミ云ふ事も又楽しいんではないですか？」

山村「それはさうです。唯其の中で一日存分にさせてやり度い氣がするのです」

倉橋「(及川先生を指して)訓練感を伺はうぢやアありませんか？」

坂内「訓練の最初の一週間ミか十日ミかをミうなさるんですか？」

及川「昨年の組は林の組でした。玄關迄が遠いのですが、お歸りの時其の玄關迄を一行に竝べて行くおけい古をしました。なか／＼うまく竝んで歩けないのです。毎日ミつちが負けるかミ根氣くらべをし乍ら……たう／＼一ヶ月位してやつミ出来るやうになりました。本校へ行く時もさうでした。本校へつけばバーッミ放してやるのですからそれ迄は負けません。ミうせ他の所で充分自由を味つて居るのでミから自信を持つてして居ます」

山村「小人數では味へない、多勢でゴチャ／＼ミ行く楽しみもあるのですが、やはり負けない方がいゝでせうか？」

及川「他の事で充分自由ですから……」

山村「勿論初めは大切ですね」

菊池「いろ／＼いゝお話を有難うございました。では……」